

「競争ルールの検証に関する報告書 2021」（仮称）

骨子（案）

第 1 章 はじめに

- 検証作業の位置づけ、今年の検証作業に至る経緯や主たる視点
- 第 2 章以降の報告書全体の流れ

第 2 章 モバイル市場の競争環境に関する検証

1. 報告書 2020 以降の取組

(1) 報告書 2020 における主な「対応の方向性」

- 報告書 2020 において示された「対応の方向性」のうち主要な点

(2) 報告書 2020 以降の総務省等における取組

- アクションプランの策定・実施ほか前回報告書以降の総務省の主な取組
- 二大臣会合の開催、公正取引委員会・消費者庁の取組についても付言

2. 報告書 2020 以降における事業法第 27 条の 3 の執行の状況

- 既往契約の解消状況（適合契約への移行状況）
- 通信料金・端末代金の分離の状況（端末購入サポートプログラム等）
- 第 20 回 WG で示した検討の方向性案及びご議論を踏まえて記載

3. モバイル市場の現況と分析

(1) 分析の視点及び手法

- 第 14 回 WG で示した今回の検証の分析の視点及び手法

(2) 通信市場の動向

- 第 21 回 WG で示した検討の方向性案及びご議論を踏まえて記載

- 契約数・事業者数の動向

- 通信料金の動向

- 利用者の動向（新料金プラン等の分析も含む）

(3) 端末市場の動向

- 第 20 回 WG で示した検討の方向性案及びご議論を踏まえて記載

- 市場全体の動向（売上台数・額・出荷台数、端末価格の動向、価格帯別売上台数）

- 5G 端末の動向

- 中古市場の動向

(4) 事業者等の経営状況

- 第 21 回 WG で示した検討の方向性案及びご議論を踏まえて記載

第 3 章 モバイル市場等に係る課題

1. 携帯電話の音声通話料金（特に従量制料金）

- 第 19 回 WG で示した検討の方向性案及びご議論を踏まえて記載

- 音声通話料金（特に従量制料金）に係るこれまでの競争環境の問題点
- 継続的に卸役務の適正性を確保するための制度的枠組みの必要性

2. スイッチングコスト

- 第 21 回 WG で示した検討の方向性案及びご議論を踏まえて記載

- スイッチング円滑化 TF での検討結果
- オンライン解約
- 残されたスイッチングコストに関する課題

3. その他の課題

(1) 販売代理店の在り方

- 消費者保護ルールの在り方に関する検討会において報告書を取りまとめ予定
- 第 19 回 WG で示した検討の方向性案及びご議論を踏まえ、競争ルールの観点からは、主に事業法第 27 条の 3 違反の観点から記載
- 「適合性の原則」違反や「通信料金と端末代金の分離」違反を助長するような評価基準の是正 等

(2) 固定通信市場に係る課題

- 事業者乗り換え時のスイッチングコストに関する事項

- 工事費の分割支払い・無料解約期間の見直し
- 事業者間連携による工事の削減

(3) その他の課題（P）

第 4 章 今後に向けて

- 検証結果全体のポイント、引き続き検証・検討を行う旨を記載

第1章 はじめに

第2章 モバイル市場の競争環境に関する検証

1. これまでの取組及び検証に係る背景

- (1) これまでの取組
- (2) 検証に係る背景

2. 改正電気通信事業法の執行

3. モバイル市場の現況と分析

- (1) 分析の視点及び手法
- (2) 通信市場の動向
- (3) 端末市場の動向
- (4) 新プランへの移行状況
- (5) 事業者等の経営状況

第3章 モバイル市場に係る課題

1. MNPに関する事項

2. その他モバイルに関する事項

- (1) 端末購入サポートプログラム
- (2) スイッチングコスト
- (3) その他(頭金、分かりやすい料金プラン、SIMに関する諸課題)

3. 新型コロナウイルス感染症の影響拡大に対応するための取組

第4章 固定通信市場に係る課題

1. 固定通信市場に関する動向

2. 事業者乗り換え時のスイッチングコストに関する事項

- (1) 工事費
- (2) 期間拘束契約

3. 過度なキャッシュバック・セット割引に関する事項

- (1) キャッシュバックやセット割引に係る検証

第5章 今後に向けて

参考資料